

農村RMO推進フォーラム

フォーラム開催のご案内

農村 RMO の普及啓発及び都道府県、市町村、農村 RMO の取り組む関係者、興味をお持ちの一般の方々の知見の向上を図る事を目的に東海農政局と東武トップツアーズの共催で農村 RMO 推進フォーラムと共に現地視察を開催しより多くの方が互いに学びあう機会を提供します。

開催日時

開場 10:15 開会 10:30

令和5年12月14日(木)

定員

会場参加 40 名
オンライン参加 100 名

参加対象

都道府県・市町村職員・福祉・社会教育・地域づくり等関係者、JA職員、土地改良区、社会福祉協議会、公民館関係者、集落協定代表者、その他興味をお持ちの方等

開催方式

対面開催

※フォーラムのみハイブリッド開催

開催場所

つくラッセル 体育館（旧築羽小学校）

愛知県豊田市旭八幡町堂山 432-3

※ご希望の方は名古屋駅より貸切バスで送迎いたします

【つくラッセル HP】



コンセプト

愛知県豊田市で農村 RMO の取組を実施している関係者（しきしまの家運営協議会、つくラッセル推進コンソーシアム）から将来ビジョンや各取組の課題と解決策等について発表いただき、有識者等とパネルディスカッションを実施することにより農村 RMO の取組の深化を図るとともに、他地域の農村 RMO 関係者も会場か WEB により参加することにより、各地域での農村 RMO の取組のきっかけづくりや更なる取組の推進に資する。

フォーラムプログラム（敬称略）

第1部 農村RMO推進フォーラム ハイブリッド開催

10:30～10:35	開会のご挨拶	東海農政局 地方参事官 勝部 剛
10:35～10:40	農村 RMO の概要説明	東海農政局 農村振興部 農村計画課
10:40～11:10	基調講演 「地域の農地を守る新たな選択肢―地域まるっと中間管理方式」とは？―	魅力ある地域づくり研究所 代表 可知 祐一郎
11:10～12:25	パネルディスカッション ▼コーディネーター 榎山女学園大学人間関係学部 教授 谷口 功 ▼アドバイザー 魅力ある地域づくり研究所 代表 可知 祐一郎	▼パネリスト ・しきしまの家運営協議会 副代表 板倉 小夜子 事務局長 鈴木 辰吉 ・つくラッセル推進コンソーシアム 代表 戸田 友介
12:25～12:30	クロージング	
12:30～13:30	昼食休憩	

第2部 現地視察 リアル開催

13:30～15:00	農村 RMO モデル地区視察（バスで移動） つくラッセル、しきしまの家、すぎん工房 ※視察先は参加状況等により変わる場合もございますので予めご了承ください。
-------------	--

送迎バスのご案内

会場へ無料送迎バスをご用意します。ご希望の方は申込みサイトよりお申込みください。

（往路）12月14日（木）

09:00 発 名古屋駅太閤口バスバース

10:15 着 つくラッセル

（復路）12月14日（木）

15:15 発 つくラッセル

16:30 着 名古屋駅太閤口バスバース

乗車場所に関しては裏面をご確認ください

フォーラム参加者の申込みは「会場参加」「オンライン参加」とも下記の URL よりお願いします。

予約専用サイト

https://nouson-rmo.jp/seminar/forum_tokai.php

お申込み〆切

12月11日(月) 17:00まで



登壇者のご紹介

魅力ある地域づくり研究所 代表 可知 祐一郎

1954 年、愛知県生まれ。82 年に愛知県に入庁。食育推進課長、農業総合試験場副場長、技監を歴任し、2015 年に愛知県農業振興基金（愛知県農地中間管理機構）理事長に就任。19 年に退任し、魅力ある地域づくり研究所を設立。著書に「農地中間管理事業をフル活用！『地域まるっと中間管理方式』とは？」（全国農業図書）

椋山女学園大学 人間関係学部 教授 谷口 功

1972 年、京都市生まれ。名古屋大学大学院環境学研究科修了。愛知学泉大学コミュニティ政策学部を経て、椋山女学園大学人間関係学部勤務。地域社会学・コミュニティ論をもとに、市民と行政の協働について実践的研究を試みている。豊田市では、市民活動促進委員会、環境審議会、地域経営懇話会で委員を務める。また、旭地区まちづくり計画にたずさわる。

しきしまの家運営協議会 副代表 板倉 小夜子

長い教員生活を定年退職後、2017 年度敷島自治区役員に就任、2019 年度「しきしま♡ときめきプラン 2020」の策定に携わる。重点プロジェクトの一つ「支え合いプロジェクト」をリーダーとして牽引。2023 年 4 月、農村 RMO しきしまの家運営協議会副代表となる。

しきしまの家運営協議会 事務局長 鈴木 辰吉

豊田市職員を定年退職後、都市と山村をつなぐ中間支援機関「おいでん・さんそんセンター」を立ち上げ、得られた知見を活かし、一般社団法人押井営農組合を設立、「自給家族」による農地保全に取組む。2023 年 4 月、農村 RMO しきしまの家運営協議会事務局長となる。

つくラッセル推進コンソーシアム 代表 戸田 友介

1981 年、愛知県北名古屋市生まれ。2009 年 9 月「日本再発進！若者よ田舎をめざそうプロジェクト」に取り組んだことをきっかけに 2011 年 3 月豊田市の中山間地域旭地区に移住。つくラッセルを中心に、営利・非営利、暮らすこと・はたらくことをこえたさまざまな事業の創出にかかわり、子どもからお年寄りまで、暮らし、はたらける、安心して産まれて死んでいけるコミュニティづくりに奔走している。

現地視察のご案内

定員 リアル参加のみ 40名

条件 農村 RMO 推進フォーラムへのリアル参加

※現地視察先（しきしまの家、すぎん工房）へはバスで移動し、終了後、つくラッセルに戻り解散（15:00 予定）

バス乗車場所

当日 9:00 までに A バース前にご集合ください。（下記★印）係員が誘導いたします。詳細スケジュール等は表面をご確認ください。



お申込みにあたり注意事項

- ※農村 RMO 推進フォーラムはハイブリッド開催となります
- ※会場リアル参加の方は各自にて会場にお越しください。
- ※乗用車でお越しの方は駐車場に限りがございますので乗合等ご配慮ください。
- ※名古屋駅から送迎バスをご利用の方への駐車場はご準備しておりません。
- ※体育館での開催となりますので暖かい服装でご参加ください。
- ※ご希望の方はお弁当をご用意しますが各自負担となります。
- ※ご宿泊が必要な場合は各自にて予約・支払をお願いします。
- ※申込みは予約専用サイトからお願いします。

共催

東海農政局 東武トップツアーズ株式会社

予約専用サイトに更に詳しい詳細が掲載されていますのでご確認の上、期日までにお申込みください。

お問い合わせはこちらまで

農村 RMO 推進フォーラム事務局（東武トップツアーズ内）

TEL. 050-9000-5887 MAIL. nouson-rmo@tobutoptours.co.jp

担当：大矢、遠藤、三吉、田邊